



ピラミードたより

テーマ「交通」
発達領域：言葉の発達

①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

「町たんけん」の絵本を見ました。「でんしんばしがあるで」「しんごうがあかになってるから、あのひとはとまってるんやな」と絵本に出てくるものを見ながら自分の知っていることをみんなに伝えていました。また保育園の近くには何があるかをみんな考え、散歩に行って確かめようと話していました。



③視野を広める(どうしてそうなるの)

保育園の中の交通ルールを作りました。保育室やホール、廊下にテープで矢印をつけたり標識をつけて歩くときの道筋を作りました。曲がり角などのぶつかる危険のあるところには停止線を作り1度止まってから安全を確認して進むようにしました。何度も歩きながら「ここは1かいとまる」「こっちから(矢印の方向)いかないとかかんで」とルールを確認していました。



むこうからはだれもきてないかな?

②具体的に体験させる(見てみよう!)

保育園の近くの海老江公園に散歩に行きました。信号や横断歩道を見つけると、「しんごうがあおになったらわたるんやで」「おうだんほどはてをあげてわたるんやんな」と自分の知っていることを皆に話していました。標識にも気付き、「あれはとまれやからとまらないとかかんで」と話していました。



ほいくえんのちかくにはなにがあるかな?

④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

ホールで横断歩道や信号を作り、車役と歩行者役にわかれて交通ごっこをしました。横断歩道を渡る時にはどうやって渡るかや信号の色の意味を実際に遊びながら確認しました。遊びの中で「くるまはこのせんでとまる」「しんごうがチカチカしたらもうすぐあかになるからわたらない」と体験してきたことを使って遊んでいました。



しんごうがあかのときはどうするでしょうか?